

vol.10
2011.6.1

特集 新潟大学六花寮

旧制新潟高等学校以来の伝統を受け継ぎ、関屋地区に建つ六花寮(以下、旧六花寮)は、老朽化のため平成23年3月末日をもって45年の歴史に幕を閉じました。旧六花寮は自治寮であり、寮費の徴収、パート職員の雇用、食堂経営、光熱水費等の支払い、その他の雑多な事務処理まで、寮生自らが管理・運営を行ってきました。運営の中心を担う全寮委員は主に2年生が務めました。各年度の予算・決算、行事の計画等、重要事項は全寮生で構成される寮生大会で審議されました。旧六花寮の自主独立の気風は、このような自治活動を通して培われてきたものです。

本号では、旧制新潟高等学校から受け継いだ西大畑地区の六花寮(以下、初代六花寮)から関屋地区の旧六花寮、平成23年4月に開設された五十嵐地区の六花寮(以下、新・六花寮)に至る「六花寮」について特集し、その伝統・文化を概観することになります。

以下の歌詞は西大畑の旧制新潟高等学校跡地(新潟大学教育学部附属新潟小学校敷地の南端)にある記念碑にも刻まれ、今も寮歌として愛唱され続ける「頌春の歌」です。

頌春の歌

山田定雄作詞・小林盛蔵作曲

生誕ここに一年と 春は再び廻り来ぬ
草木緑に萌え出でて 雲雀は高く歌ふなり
若き誇りの二百人 光を浴びて丘に立つ

揺れたち昇る陽炎や ふりさけ見れば紫の
一抹佐渡ヶ島霞 薔薇色雲よ真白帆よ
希望憧憬わが象徴 乗せて漂ふ青海波

ああ青春の喜びは 胸に溢れて熱き血の
漲る吾れが腕かな さわれ微にひそかにも
かすりて過ぐる悵愁の 黒き眸に涙あり

それは歓楽に悲哀を ふと思ひ出し若人が
やがて来るべき烈日の 激しき戦知ればにか
運命の前の凋落の 一葉の影思えばか

無心の砂は崩れ来て 鶯は舞い居り悠久を
この麗日の丘の上 頌春の歌あはせつつ
贅なき宴催せば 散りこそかかれ花の雪



上の写真は平成22年11月6日に開催された「六花寮お別れ会」の集合写真です。相部屋が基本であった旧六花寮は、学部・学年を超えた連帯感、結束力も強く、「六花寮お別れ会」には短期間の呼びかけにもかかわらず、全国から二百数十名の卒業生が駆けつけました。

旧制高校と学生寮

戦前の旧制高等学校は、英米のCollegeを手本にしたとされ、例えば1890年代より第一高等学校(現東京大学)が全寮制を開始したことに代表されるように、全国の旧制高校と学生寮とは密接な関係にありました。寮生活には社会に役立つ人材を育成する面で、学校での勉強とは別の重要な役割(先輩・後輩あるいは文系・理系の区別なく議論し、互いに啓発・刺激し合い理解し合って人間関係を深めることなど)がありました。

新潟大学の学生寮の変遷

新制大学移行の頃

1949(昭和24)年の新潟大学設置を機に、前身校である旧制新潟高校の六華寮(1952(昭和27)年より六花寮)、新潟第一師範学校(新潟市)の好風寮、新潟県長岡女子師範学校の和光寮、新潟第二師範学校(上越市(高田))の公孫寮、及び長岡高等工業学校の悠久寮が新潟大学に所属替えとなりました。1951(昭和26)年には医学部の学生寮が財団法人協和会より新潟大学へ寄附されました。第二師範学校の女子寮である桜の家(1963(昭和38)年より桜寮)は1952(昭和27)年に新潟大学に所属替えとなりました。1954(昭和29)年には新潟市二葉町三丁目(現在の中央区古町13番町)に二葉寮(女子寮)が設置されました。

六花寮の関屋地区への移転

六花寮、好風寮ともに老朽化のため新築が要望されていたところ、1964(昭和39)年6月16日に新潟地震が発生しました。好風寮は半壊し、使用不能となりました。同年、大学は文部省より学生寮新築の予算を獲得し、1965(昭和40)年12月には関屋地区に鉄筋コンクリート建ての学生寮(当時は新寮と呼ばれた)が完成しました。新寮には六花寮、好風寮、医学部学生寮の寮生が入居し、同時にそれぞれの旧寮は

廃止されました。1968(昭和43)年3月28日より新寮の名称は六花寮となりました。

五十嵐キャンパスへの統合移転の頃

1979(昭和54)年～1982(昭和57)年にかけて行われた工学部、教育学部の五十嵐キャンパスへの統合移転に伴い、長岡地区の悠久寮と和光寮、高田地区の公孫寮と桜寮はいずれも閉寮しました。統合移転の間、1980(昭和55)年には五十嵐寮A棟(男子寮)、翌年の1981(昭和56年)には五十嵐寮B棟(女子寮)が完成いたしました。二葉寮は五十嵐寮B棟の新築と同時に廃止されました。これにより、新潟大学の学生寮は、六花寮、五十嵐寮A棟、B棟の三寮となりました。

新・六花寮

関屋地区の旧六花寮は老朽化により2011(平成23)年3月末をもって閉寮しました。同年3月29日(火)、五十嵐キャンパス内に完成した新・六花寮の完成記念式典が行われました。同年4月より、学生(男・女)、大学院生、留学生も入居し、新・六花寮がスタートしました。

宿舎名	地区	系譜
六花寮(初代六花寮)	新潟市	旧制新潟高校→新潟大学へ移管(1949年)～関屋地区への移転(1965年)まで
六花寮(旧六花寮)		1965年12月～五十嵐地区への移転(2011年3月)まで
六花寮(新・六花寮)		2011年4月～現在に至る
好風寮		第一師範学校→新潟大学へ移管(1949年)～六花寮の関屋地区移転(1965年)まで
医学部学生寮		1951年～六花寮の関屋地区移転(1965年)まで
二葉寮		1954年～五十嵐寮B棟完成(1981年)まで
五十嵐寮A棟		1980年～現在に至る
五十嵐寮B棟	1981年～現在に至る	
悠久寮	長岡市	長岡高等工業学校～新潟大学へ移管(1949年)～工学部の五十嵐地区移転まで
和光寮		長岡女子師範学校～新潟大学へ移管(1949年)～教育学部の五十嵐地区移転まで
公孫寮	上越市 (高田)	第二師範学校→新潟大学へ移管(1949年)～教育学部の五十嵐地区移転まで
桜寮(桜の家)		第二師範学校→新潟大学へ移管(1952年)～教育学部の五十嵐地区移転まで

全学同窓会年次支援事業(平成22年度)

皆様からの賛助会費をもとに始まった公募型の学生および大学支援事業は3年目を迎えました。22年度は以下の10件を採択し、合計231万円を支援しました。学生の社会貢献・地域貢献が増えつつあり、更に支援すべく、新たな枠組みを設ける予定です。

●新潟大学卓球部

「新潟大学オープン卓球大会を始めとする卓球部の社会参加活動および各種大会における活躍」

学生とOBが連携し、地域に開かれた大学を追求すべく、一般市民参加型の卓球大会を企画運営しています。多くの小・中学・高校生や障害者も参加しています。この活動は現役学生の意識にも好影響を与え、学生は全国大会でも好成績を修めています。



新潟大学オープン卓球大会参加者の集合写真

●新潟大学体操部

「体操競技における更なる技術向上及び精神の鍛錬、団体の中における自己の振る舞いや礼儀を学ぶ」

●新潟大学ラグビー部

「全国大会優勝に向けた練習環境の整備」

●新潟大学探検部

「ラフティング全国大会や世界大会出場に向けての活動強化また装備の補充」

●新潟大学陸上競技部

「全国大会入賞に向けた活動の強化」

●新潟大学吹奏楽部

「訪問演奏を中心とするボランティア活動」

演奏活動の傍ら、年間を通して、障害施設への訪問演奏を行っています。運動会の運営手伝いをしたりすることもあります。



新潟学園で行われた訪問演奏会の様子

●新大室内合唱団

「全日本合唱コンクール全国大会参加へ向けた活動の強化」

●新潟メモリアルオーケストラ

「新潟メモリアルオーケストラ創立20周年記念第20回定期演奏会」

●新潟大学旭町学術資料展示館

「新しい技術・情報を活かした展示改善」

●新潟大学キャリアセンター

「学生向けキャリア関係図書の実充」

初代六花寮

新潟市中央区西大畑町
1919(大正8)年～1965(昭和40)年

若き日の師であり故郷

小林雄司

(法・昭和28年入寮)

入寮した当時はビックリすることばかりでした。夜中に腹がすくと洗面器でそうめんやうどんを茹でてみんなで食べました。翌朝にはその洗面器で顔を洗い、洗濯もします。夜にはストーム(寮歌を高唱しながら、騒々しく氣勢をあげて楽しむこと)もありました。反面、清和寮という一戸建てがあり、家庭的な雰囲気の中で囲碁、将棋、談話を楽しむことができました。寮での生活は大人としての出発点でした。先輩から教えられ、ものを考える基本を学びました。のちの人生の歩みに大いに役立ちました。

ああ六花寮！ ～今にも生きる寮友とのつながり～

角田紘二

(医・昭和37年入寮)

昭和37年4月から6年間寮生活を送りました。西大畑の寮に入寮して金衛町に移転したまさに歴史的な時代でした。西大畑の寮は旧制新潟高校時代の面影をそこかしこに残していました。寮生活は、それまでの親の保護を受けていた生活と全く異質のものでした。肝を抜かれたストームや、パンカラな六花寮祭、二葉寮生との尾瀬旅行など青春の映像が次々に浮かび上がってきます。今でも毎年、同時期の寮生と旅行を兼ねた飲み会を行っています。持ち回りで幹事となり、観光地や歴史的な土地建物を見学し、温泉に入って一杯やり旧交を深めています。昔の寮生活や仲間を思い出す楽しい一時です。

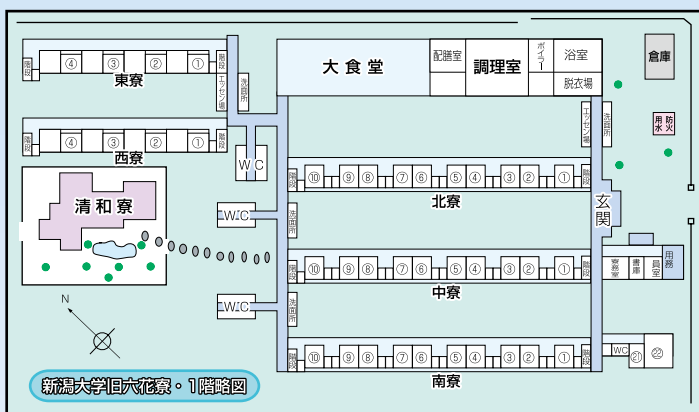
(寮誌「六花」復刻集より)



寮祭では寮が一般開放され、各種の催しがみられた。部屋も開放され、展示などが行われた。写真は六花寮史の黎明期を伝える展示。



昭和30年前後に玄関前で撮影された集合写真



初代の六花寮の建物は、東寮、西寮、北寮、中寮、南寮、そして清和寮で構成された。

西大畑の旧六花寮記念碑

～ここに新潟大学六花寮ありき～

新潟大学旧六花寮生親睦会 代表幹事 阿部孝士

(理・昭和37年入寮)

新潟市が建立した「どっぺり坂」(位置は雪華9号を参照)の石碑を見る度に、いつか我々も旧寮の敷地内に六花寮を偲ぶ記念碑を建立したいと思っておりました。新潟市在住の旧寮生は月に1～2度集まって懇親の宴を開いておりますが、平成18年秋頃、その席で石碑建立について提案したところ、全員の賛同が得られました。平成19年4月、新潟大学旧六花寮生親睦会の総会で寄附を募ったところ、多額の賛助金を賜うことができました。そして、旧寮の敷地内(現在の新潟大学附属特別支援学校敷地の東端、どっぺり坂のほぼ正面)に記念碑(下の写真)を建立出来ました。平成19年11月3日には有志が集まり、除幕式も行われました。



※文中の寮の名称は出典に従いました。
このページにおける「旧六花寮」の名称は、本誌特集の「初代六花寮」を指します。

今後の支援事業に関する全学同窓会と学生団体との意見交換会

「現役学生への支援をどのように進めるか」を検討しています。国立大学生の授業料負担が増えてきた現状に鑑み、奨学金事業を実施してはどうかという意見もあります。他方、充実したキャンパスライフを送り、学生同士あるいは世代を超えた連帯意識を醸成させるには、別の支援方法が必要なのではないかという意見もあります。

現役学生と卒業生が互いにどのように考えているか、それぞれが率直に話し合う場が必要であろうという認識のもと、学生代表との意見交換会を開催することにしました。2011年1月に各学生サークル代表10名と全学同窓会運営委員が集まり第一回目を開催しました。有意義だったので、6月にも開催する予定です。今後も継続して、学生との話し合いの場を設けたいと思っています。

(全学同窓会支援事業部会)

旧六花寮

新潟市中央区関屋
1965(昭和40)年12月～2011(平成23)年3月

旧六花寮は、A館・B館の2棟、鉄筋コンクリート4階建、1～3階は4人部屋、4階は2人部屋で構成されていました。両館の各フロアが共同生活の単位(ここではユニットと呼ぶ)であり、ほとんどの寮の行事はA館1階(A1)～B館4階(B4)までの8ユニットの対抗戦で行われました。各ユニットの結束力は高く、それぞれが独特の気風を築いていました。

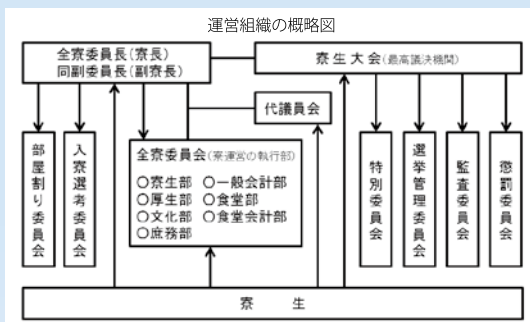


寮の管理運営・体制

寮の管理運営は寮生規約に定める規則に則って行われていました。冊子「寮生規約」は、B6版56頁からなり、各種の規約、規定、それらの細則が収録されています。日常の運営を行う執行機関として全寮委員会がありました。委員の任期は半年で、各ユニットから2名ずつ、主に2年生が選出されました。全寮委員会には7つの部(寮生部、厚生部、文化部、庶務部、食堂部、一般会計部、食堂会計部)が設置されていました。業務内容も「全寮委員会各部執行細則」に定められていました。全寮委員会の報告、全寮委員会への要望・提案などは、各ユニットで月1回開催される各階会議(通称「ダベリ会」)で話し合われました。寮を取り巻く種々の問題について情報共有を図る重要な会合となっていました。



寮生規約



寮食

旧六花寮には食堂があり、朝・昼・夜の三食を提供していました。まとまった枚数の食券を事前購入し、前日18時までに食事の予約をします。関屋移転当初の1965(昭和40)年は朝食券が20円、昼・夕食券が40円でした。高度経済成長期のインフレ時代、安価で良質の食事を提供するため、備蓄できる米などの食材は値上げ前に大量購入する必要があり、食堂会計部は采配を振りました。1985(昭和60)年頃には朝食100円、昼・夕食200円になっていました。旧六花寮の晩期には昼食が廃止され、五十嵐地区移転直前の2010(平成22)年は朝食150円、夕食330円でした。



食券の変遷(朝食券の例)

部屋替え

旧六花寮では、半年に1回ずつ「部屋替え」を行いました。陽当たりのよい南側の部屋と防砂林(通称「母の森」)しか見えない北向きの部屋がありましたので、部屋割りの不平等を解消する意味がありました。また何より「部屋替え」は、掃除が苦手な寮生にとっ、定期的に大掃除をする絶好の機会となりました。

ANA CROWNE PLAZA NIIGATA

より輝く、明日のために

ANAクラウンプラザホテル新潟
〒950-8531 新潟市中央区万代5-11-20
TEL. 025-245-3333
www.anacrowneplaza-niigata.jp

インターネットはAstec

現在、新潟大学の五十嵐寮・六花寮にてインターネット設備を提供させていただいております。

昨年より一般ユーザー向けのプロバイダサービス「aisu」を開始いたしました。

インターネットプロバイダ aisu なら メールアドレスが10個まで無料で使える! グローバルIP(固定IP)が+525円で持てる!

月額 プレッツADSL接続 1,050円 ※ プレッツ光接続 1,470円 ※

※サービスのご利用には、アクセス回線としてNTTのプレッツ回線が必要となります。プレッツ回線のお申込みがこれからという方はNTT 東日本特約店の当社にて承ります。

お問い合わせはこちら

株式会社Astec 0120-970-876
ホームページ http://k-astec.co.jp

寮歌

寮の行事やストーム時には必ず寮歌を唱います。寮生なら必ず覚えなければならない必修の寮歌があります。寮歌集には、「四季の新潟」、「新潟大学学生歌」を含めて33曲の歌詞と楽譜が掲載されています。大半は旧制新潟高校時代に作詞・作曲されたものです。初代六花寮時代は、寮歌「春日飲燕二部曲 饗宴の部」、「頌春の歌」、「黎明の孤城」、「友よ語らん」、「越路の春の」、「佐渡ヶ島山」、「春日飲燕二部曲 散宴の部」と「四季の新潟」を加えた8曲がよく唱われました。平成21年6月に新潟大学旧六花寮生親睦会(前出)が製作した寮歌撰集CDには、これらの8曲が収録されています。関屋地区に移転後、「友よ語らん」に代わって、「三寮の窓



寮歌集



寮歌撰集CD

漏るる灯」が唱われるようになり、「新潟大学学生歌」も加わりました。旧六花寮の晩期は寮生数の減少もあって、「佐渡ヶ島山」、「三寮の窓漏るる灯」は必修から外されました。

寮誌「六花」

全寮委員会文化部が編集・発行する定期行物に寮誌「六花」があります。初代六花寮時代の1958(昭和33)年5月に創刊され、2006(平成18)年には第50号を数えました。内容は、随筆、詩、小説、評論、書評といった文芸全般です。その時々々の寮生の気質、寮生を取り巻く社会環境などを窺い知ることができます。2008(平成20)年1月には新潟大学旧六花寮生親睦会(前出)によって、創刊号～第13号までを合本した復刻版も発行されました。



寮誌「六花」

寮の行事

旧六花寮では様々な年中行事が行われていました。ここでは1986(昭和61)年頃の年中行事のいくつかを取り上げます。

新歓行事：4月は連日にわたって、ウソコン(寮歌練習)、寮歌発表会・入寮式、県人会、新歓コンパ、勉学のススメ、学部交流会、サークル紹介、市内オリエンテーリング等が行われました。
・「ウソコン」はいわゆる“どっきりカメラ”のような企画で、新入寮生と上級生が短期間で親密になります。上級生は硬派な寮生を演じてパンカラな寮を演出し、新入寮生は談話室に合宿して寮歌を覚えます。演出とはいえ、新入寮生には大きなストレスですので、上級生が新入寮生に扮して(ウソ1年)潜入し、寝食を共にしながらバックアップします。寮歌発表会・入寮式の後、すべてが嘘の演出であったことが告白され、そのままコンパへと移行します。

月	行事
4	○新入寮生歓迎企画 ・ウソコン(寮歌練習) ・寮歌発表会・入寮式 ・新歓コンパ ・勉学のススメ ・県人会・学部交流会 ・サークル紹介 ・市内オリエンテーリング、など
5	○夜行会(三寮合同企画) ○スポーツ大会(春)
6	
7	○夏休み突入コンパ
8	
9	○学習月間(3学期制の前期試験)
10	○スポーツ大会(秋) ○寮祭(中旬～) ・前夜祭 ・市中パレード(仮装行列)
11	○寮祭(～上旬) ・新大祭参加企画(ミス六花) ・演劇/符根/オセロ/麻雀大会 ・後夜祭、など
12	
1	○学習月間(中旬～)
2	○学習月間(～上旬) ○卒業生追出しコンパ
3	

新歓パンフレット「たいまつ」：寮生活の基本ルール、食堂の利用法、電話取り次ぎ業務、各ユニットの紹介、寮内サークルの紹介、施設(テレビ室、学習室、卓球場など)の紹介、近隣町内の情報(飲食店、スーパー、理容・美容室、海水浴場など)等を満載したパンフレットです。



新入寮生歓迎パンフレット「たいまつ」

夜行会：5月中旬の土曜夜から日曜午前中にかけて、大学(五十嵐)～弥彦山頂の区間を歩く企画です。当時は六花寮、五十嵐寮A棟、B棟の三寮合同の企画でした。六花寮生は全員参加、五十嵐寮A棟、B棟は新1年生のみの参加でした。六花寮の1年生は夜行会に先立ち関屋～五十嵐の区間も歩きました。

六花寮祭：10月中旬～11月上旬の約1か月間にわたって行われました。毎週末に企画があり、すべて各ユニットの対抗戦で、獲得したポイントの合計で順位が決まります。前夜祭の出し物、演劇、市中パレード(仮装行列)、新大祭参加企画「ミス六花」コンテスト、後夜祭では「耳パン早食い」や「フィーリングドラッカー(1チーム5人による酒一升早飲み)」等の各種競技種目を競い合いました。



仮装行列にいざ出陣(1974年)



市中パレードの様子(1992年)

コンパ：全寮的なコンパとして、新入寮生歓迎コンパ(4月)、夏休み突入コンパ(7月、当時は3学期制)、六花寮祭前夜祭・後夜祭(10～11月)、卒業生追出しコンパ(2月)がありました。コンパでは太鼓を打ち鳴らして寮歌を合唱し、深夜までストームの交換が行われますので、近所迷惑となります。コンパが近づくこと、ご近所には回覧板を廻して周知しました。苦情が寄せられることもありましたが、町内の風物詩のように温かく見守っていただきました。



コンパで太鼓

産業廃棄物・アスベスト(石綿)リサイクル処理いたします

電気炉による、廃棄物リサイクル処理



- 処理困難物をリサイクル処理いたします
- 製鉄用電気炉を使った安全融解処理です
- 廃棄物の安全管理・処理システムです

産業廃棄物処理業
新潟 **メスキュード**(株)
ナクソウ コマルゴミ



0120-79-5053

messcud@syd.odn.ne.jp

【本社】新潟市西区寺尾東1-19-19 TEL:025-269-5701

新・六花寮

新潟市西区五十嵐二の町(新潟大学五十嵐キャンパス内)・
2011(平成23)年4月～



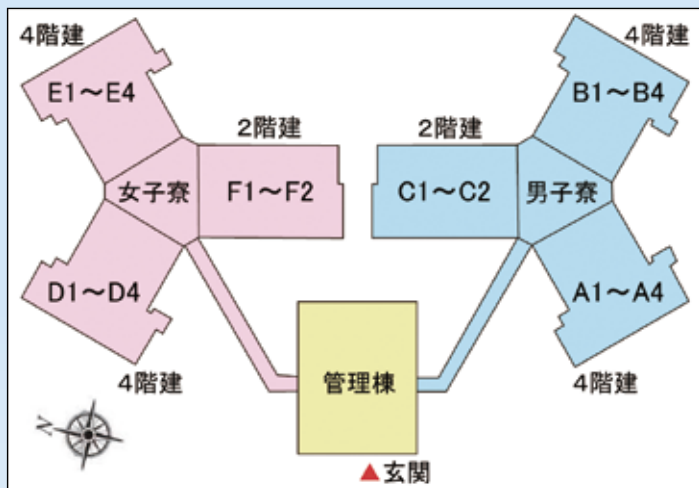
学長、理事、学生による除幕式の様子。異なる文化を背景とした多様な学生との交流を通じてコミュニケーション能力の醸成などが図られ、協調性・国際性を兼ね備えた、広く国際社会で活躍できる人材の養成に資する場としても期待されています。

寮の概要

新・六花寮は男子寮と女子寮からなります。男子寮は建物・フロア毎にA1～A4、B1～B4、C1・C2の10ユニットで構成されています。女子寮も同様です。それぞれのユニットは一人部屋が10室あり、異なる学部・学年の学生や大学院生、留学生が同じユニットで生活する混住型の学生寮です。各ユニットには共用のダイニング・キッチン、トイレ、浴室、ランドリーが設置されています。

運営組織

全寮委員会は各ユニットから全寮委員一名選出し、男子女子合計20名で構成されます。全寮委員には以下の役職があります。
寮長：一名(男子寮・女子寮各々)、副寮長：一名(〃)



監査部：一名(〃)、企画部：一名(〃)
広報部：一名(〃)、会計部：一名(〃)
防災訓練担当：一名(〃)

また、寮の運営と各ユニットの管理は区別されています。各ユニットには衛生管理等を行うユニット長一名が置かれています。下久保寮長によれば、「目標としてこの一年で運営組織の地固めを行い、将来的に円滑な寮運営を行えるように、経過を見て担当部署の定員増減などについて、柔軟に対応したい」とのことです。



初代寮長として

下久保大介

(法・平成21年旧六花寮入寮 平成23年新・六花寮入寮)

私は2年前、新潟市中央区関屋にあった旧六花寮に入寮しました。それまで私は共同生活をしたことがなかったので、寮で生活することに対して大きな不安を持っていました。しかし、多くの寮の行事や委員活動を経験していく中で寮生活の楽しさや六花寮の伝統を学ぶことが出来ました。旧六花寮で寮長になった動機としては、「寮に何らかの形で貢献したい、恩返しをしたい」という思いからでした。図らずも旧六花寮の最後の寮長となり、そして新・六花寮では最初の寮長となりました。新しい六花寮は学部生だけでなく、同じユニットに大学院生や留学生も一緒に居住することとなり、これまでの六花寮の仕組みとは全く異なるものとなりました。また、新たに女子寮も作られ、人数も男女共に100名、計200名の寮となりました。以前とは全く違う寮体制となりますが、これまで脈々と受け継がれ、培われてきた伝統や文化、六花寮の精神を新たな寮でも引き継いでいきたいと思っています。



六花寮を国際交流の場に

郭 義根

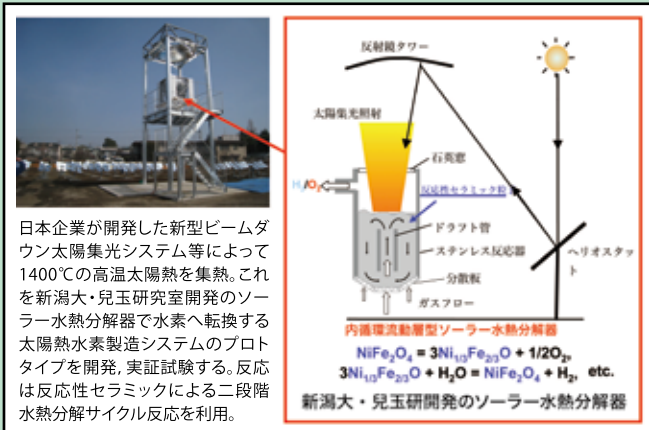
(大学院技術経営研究科・平成23年入寮)

私は韓国の大学でも寮生活を経験していますので、日本でも迷わず寮生活を選びました。なんと言っても寮には、①生活費が安く済む、②キャンパス内にあるので通学が便利、③人脈を形成できるなど良いところがたくさんあります。六花寮は新築ですし、一人部屋ですので、留学生にはとても生活しやすい寮です。韓国の出身大学に比べると、新潟大学は留学生への支援も充実していますので、とくに不満はありませんが、寮に食堂がほしいと思うことがあります。食事付きの寮のほうが勉強に集中できると思うからです。それから、もっと日本人と留学生が交流できるイベントがあれば良いと思います。例えば月に1回くらい、土・日を利用して留学生が母国の料理を作ってみんなで食べる会があると楽しいと思います。みんなの距離が縮まると思うのです。どうしても留学生は留学生同士、私で言えば韓国人同士の付き合いが中心になりがちですが、六花寮に入寮したので、日本人の友人をたくさん作りたと思います。

自然科学系（工学部）

高温太陽集熱による水熱分解ソーラー水素製造システムの開発

太陽日射の豊富なサンベルト地域（米南西部、豪州、地中海沿岸、中東等）では次世代技術として、大型太陽集光システムによって得られる1000℃以上の高温太陽熱で直接、水を熱分解して水素を製造する反応システムの開発が期待されています。本研究は、研究代表者の開発した新しいソーラー水熱分解反応器の原理を日本企業が開発した高温用集光システムと結びつけて高効率の水熱分解ソーラー水素製造システムの原型を開発し、その実証試験を行なうというものです。化学反応は金属酸化物（反応性セラミック）を反応媒体とする二段階水熱分解サイクルを使います。本研究で開発するソーラー反応器の画期的な部分は、二段階反応をソーラー反応器内で同時に進行させることができると、さらに反応表面積の大きい微粒子の反応性セラミックが反応体として機能することであり、反応の高速化と反応器のエネルギー高効率化が可能になると期待されます。サンベルト地域で経済的で大量のCO₂フリー水素を水から生産するための鍵技術となるものです。サンベルト地域をほとんど持たない日本にとっては、海外のサンベルト地域で太陽エネルギーを水素燃料に転換して日本へ液体水素等でタンカー輸送する方法に期待されます。

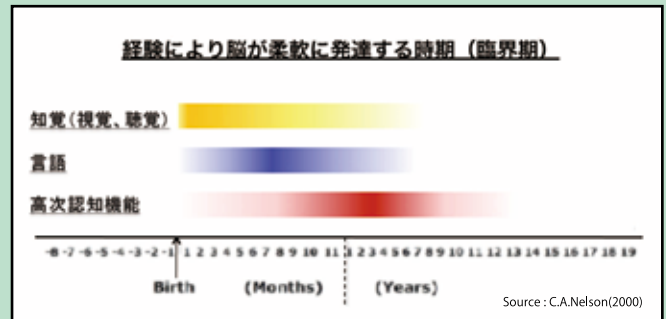


化学システム工学科：兒玉 竜也

医歯学系

経験が脳の発達を促すメカニズム

「三つ子の魂百まで」のことわざのように、子どもの頃の経験が、脳の成長には大切です。例えば、怪我などで子どもの片目に眼帯をすると、見る経験をさげられた目の視力が弱くなり、弱視を生じることがあります。しかし、経験が脳の機能を発達させる仕組みについては、世界的にも分からない点が多いのが現状です。これまでに、胎児の脳を作る遺伝子が、生後には脳を発達させる役割を持つことを明らかにしてきました。この遺伝子から作られる蛋白質（Otx2）は、経験を感知して脳細胞の間を移動し、移動先の発達を促すというとてもユニークな性質を持ちます。マウスの脳内において、この蛋白質（Otx2）の量を外部から操作すると、経験を通して脳が柔軟に発達する時期（臨界期）を人為的に操作できます。この技術を用いて、脳の発達に必要な仕組みを明らかにしていきます。将来的には、神経疾患から脳機能を再建する治療法の開発につながるかと期待されます。



神経発達研究室：杉山 清佳

私たちが新潟大学を応援しています

秋田組合総合病院、朝日酒造(株)、(株)アステック、(株)アヅマテクノス、ANAクラウンプラザホテル新潟、(株)磯部ハイテック、(株)伊藤商会、(株)牛木組、(株)宇都宮製作所、エアブラック(株)、(株)遠藤製作所、オフィス(株)、(株)オリス、金井度量衡(株)、(財)協和会、(株)栗山米菓、(株)グローバルネットコア、(株)考古堂書店、児嶋眼科医院、(株)コロナ、近野茂公認会計士事務所、佐藤食品工業(株)、沢矯正歯科医院、(株)サンケイ情報ファシリティ、三幸製菓(株)、(株)サンライズ・ヴィラ、(株)サンライフ舞、塩川酒造(株)、(有)信成科学、信楽園病院、(株)スタジオ嶋田、諏訪湖畔病院、高口経理事務所、高田西城病院、田辺建設(株)、中越運送(株)、(株)東陽理化学研究所、有限責任監査法人トーマツ、トップ工業(株)、公認会計士 富岡清嗣事務所、(株)新潟科学、新潟県信用組合、新潟サンセルフ、新潟信用金庫、新潟税理士法人 深滝合同事務所、新潟総合警備保障(株)、新潟大学生活協同組合、新潟ダイヤモンド電子(株)、新潟中央青果(株)、新潟脳外科病院、新潟メスキュード(株)、日東アリマン(株)、(株)バイオニア、(株)博進堂、(株)ヒウラ、光タクシー(有)、(株)廣瀬、(株)福田組、富士フィルムメディカル(株)、北越紀州製紙(株)、(株)北都、(株)細貝建築事務所、三井物産(株)、八洲設備工業(株)、(株)リンコーコーポレーション

協賛企業65社（平成23年3月31日現在）

新潟大学からのお知らせ

災害・復興科学研究所を設置

新潟大学は40年以上に及ぶ災害研究の実績を有しています。近年は中山間地域における災害メカニズムの調査研究と被災地の復興支援に携わってきました。その中心的役割を担ってきた災害復興科学センターを改組し、平成23年4月1日付で「災害・復興科学研究所」を設置致しました。同研究所は「中山間地における減災科学」を構築し、国内外にその研究成果を積極的に発信していく共同研究拠点を目指しています。

4月23日(土)には、本学総合教育研究棟において開所記念シンポジウムを開催し、国内外の研究者による講演、パネルディスカッションを行い、170余名の参加者がありました。



パネルディスカッションの様子

東日本大震災の被災者へのボランティア活動

新潟市西総合スポーツセンターを避難所として生活されている東日本大震災の被災者の方々に対して、本学教育学部学生がストレッチを中心とした運動指導や子どもたちに向けて体操教室を開きました。指導の後は避難者の方々のお話を傾聴する時間を設けるなど、被災者の方々と心身共に交流を深めました。この他にも本学学生はボランティア活動に積極的に参加しています。



子どもたちと楽しく体操

新潟大学全学同窓会からのお知らせ

新潟大学・全学同窓会交流会
記念講演会および懇親会のご案内

- 期日：平成23年10月22日(土)
- 会場：ANAクラウンプラザホテル新潟(新潟市中央区万代5-11-20)
- 主催：新潟大学／新潟大学全学同窓会

【記念講演会】 15:00～17:00 **【入場無料】**

- ◎新潟大学研究トピックス
- ◎「ほどほど健康術一元気で長生きする秘訣とは？」

講師 岡田 正彦氏

(新潟大学大学院医歯学総合研究科予防医療学分野 教授)

●プロフィール●

1972年に新潟大学医学部卒業。専門は予防医療学。循環器専門医、産業医、米国心臓学会プロフェッショナル会員などの資格を持つ。2002年に臨床病理学研究振興基金「小酒井望賞」を受賞。著書に「人はなぜ太るのか」(岩波新書)、「ほどほど養生訓」(日本評論社)、「薬なしで生きる」(技術評論社)、「検診で寿命は延びない」(PHP新書)など多数。



講師/岡田正彦(おかだ まさひこ)氏

講演抄録：<http://www.niigata-u.ac.jp/dousoukai/gyoji.html>

【懇親会】 17:30～19:30 会費5,000円

講演会・懇親会の申込方法

記念講演会と懇親会別の参加希望、住所、氏名、勤務先(所属)、電話番号、新潟大学同窓生の場合は卒業学部、卒業年を明記し、郵送、FAXまたはE-mailで全学同窓会事務局へお申し込み下さい。いずれの会も新潟大学関係者以外の方もご参加できます。締め切りは10月7日(金)

申込先：新潟大学全学同窓会事務局

〒950-2181新潟市西区五十嵐2の町8050番地

TEL 025-262-7891、FAX 025-262-7892

E-mail dosojimu@adm.niigata-u.ac.jp

第2回アースコンシャス・フォトコンテスト

日本の自然について隠れた魅力を発掘することで、自然の恵みの価値を広く理解し、環境保全の意識を喚起する作品の投稿をお待ちしています。同窓会員に限らず、どなたでも応募できます。奮ってご応募ください。

- 応募締切 平成23年9月20日(火)
 - 募集テーマ
 - 特定部門：テーマ「風」(風を感じさせる作品を募集します)
 - 自由部門：テーマは特に定めません
 - 受賞
 - 特定部門：最優秀賞1名(副賞30,000円)、全学同窓会長賞1名(副賞20,000円)など
 - 自由部門：優秀賞1名(副賞20,000円)など
- ※応募方法、応募規程などの詳細は、下記のHPをご覧ください。

http://www.niigata-u-dousou.jp/photo_contest/

新潟大学全学同窓会

事務局：〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地

TEL025-262-7891 FAX025-262-7892

dosojimu@adm.niigata-u.ac.jp

<http://www.niigata-u.ac.jp/dousoukai/>

運営委員会広報部より

寮といえば、上下関係、プライバシー欠如、古い、汚い、と負の印象が目立ちます。1960～70年頃は全国的に学生運動の拠点でもありました。反面、文系理系・学年を超えての交流、人脈形成などメリットもあります。同窓の絆が強いのも寮の特徴です。昨年末、京大の全寮制大学院構想の新聞記事を目にしました。学生寮の原点を再評価する動きかもしれません。